



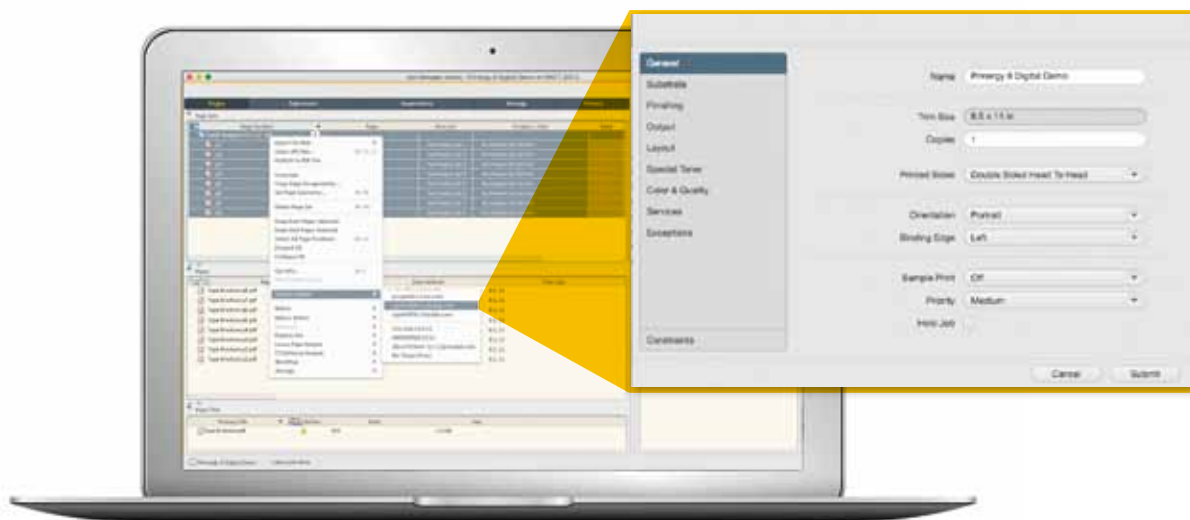
ワークフローの自動化は、コスト・工数の削減はもちろん、顧客満足度の向上にもつながります。そして「顧客の囲い込み」こそが自動化の最終目標といっても過言ではありません。ビジネスの成長にあわせてワークフローを進化させてゆくことは、さらなる成長の確かな原動力となるでしょう。

Kodak Prinergy ワークフローは、業界トップクラスのプリプレス オートメーション ソフトウェアです。コダックのワークフロー ポートフォリオの基盤であり、一連のソフトウェアモジュールの中核をなしています。Prinergy ワークフローの幅広い自動化機能を活用すれば、ワークフロー全体でのコストダウンが実現できます。また、拡張性にも優れているため、顧客ニーズの変化やビジネスの成長にあわせて、新しい機能を追加することも可能。Prinergy ワークフローによって、厳しい競争に勝ち抜く「高効率性」と成功に必要な「多機能性」を手中に収めることができます。

Prinergy ワークフローの RBA で プリプレスのコストを 30 ~ 60% 削減

主なメリット

- ジョブ作成、共同作業、ファイル処理、トラッピング、ブルーフ、面付け、カラーマネージメントなど、コスト削減につながる幅広いプリプレス機能を搭載。
- 出力前にエラーを発見することで、やり直しの手間や納期遅れを最小化。
- クラス最高の出力品質を提供。
- 拡張性に優れたモジュール構造を採用。顧客ニーズの変化にあわせて機能を追加したり、自動化のレベルアップが可能。
- オフセット&デジタルのハイブリッドワークフローに対応。
- より多くの印刷機に対応：コダックのデジタル印刷機はもちろん、各社の印刷機を幅広くサポート。
- ジョブの入稿から印刷までを完全自動化。
- 商業印刷・パッケージ印刷に最適化されたソリューション。
- 強力なデジタル出力機能を搭載。



強力なデジタル出力機能でワークフロー全体にかかる時間を短縮

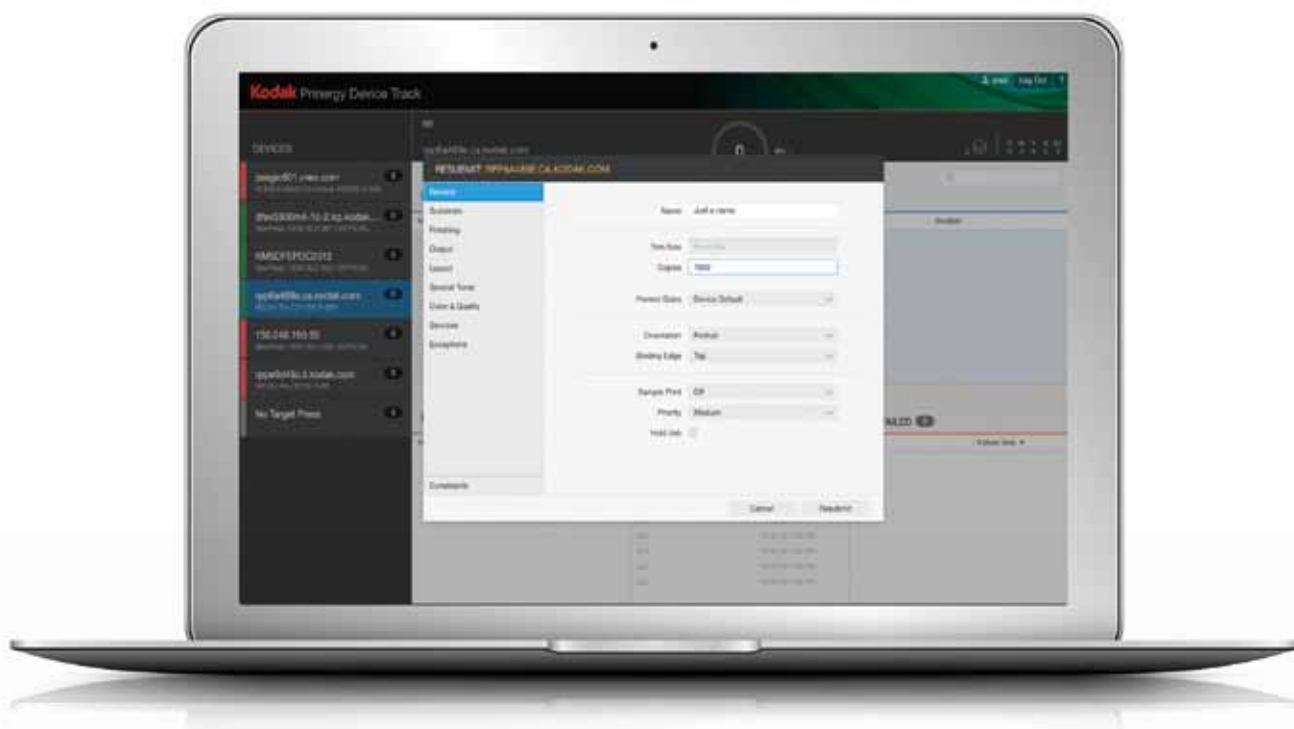
新機能

業界初のデジタル出力機能が柔軟性を高めコストを削減。

- ・ オフセット&デジタルのハイブリッド ワークフロー：ファイルを作り直すことなく、柔軟に印刷方法が指定でき、オペレーターの手間と時間を軽減。
- ・ 業界初! ユニバーサル デジタル ジョブチケット エディタ機能：印刷機のリアルタイム稼働状況にもとづいて生産判断が可能。
- ・ デジタル印刷機とのインテグレーション：オフセット印刷機とデジタル印刷機を最も効率良く稼働させることで収益を最大化。

パッケージ印刷向けの機能を強化し、厳しい要求にも高品位出力で対応。

- ・ Maxtone SX スクリーニングによりプロセス 4C フローを大幅に強化：高精細・高品質印刷を求められるパッケージ印刷に対応。
- ・ 他のワークフローシステムからの XMP スクリーニング割り当てをサポート：業界最高水準のコダック スクリーニング技術の自動適用も設定可能。
- ・ グラフィックアーツ業界の国際協議会 Ghent Workgroup の最新パッケージ規格に準拠：グローバル展開しているブランド企業の厳しい要求にも対応可能。



再入稿ジョブチケット エディタをプラスしたデジタルトラック機能

オートメーション&レポートینگ

ルールベース オートメーション ソフトウェア (RBA)

- 「Cause-and-effect」機能によるインテリジェントな自動化：スタッフによる決定や手作業が不要になりコストも大幅に削減可能
- シンプルでパワフルなルールのカスタマイズ作成が可能：イベント X 発生時に、バックグラウンドで待機していたアクション Y を実行
- ほぼすべての手動イベント、業務プロセス、印刷生産ワークフローのステップに代わる自動ルールを作成：サーバーとのファイルのやり取り、スクリプト実行、eメール送信、タスクのスケジューリング、ジョブチケットに基づく決定など
- 数字として成果が表れる RBA *
 - » プリフライトやアーカイブの自動化といった基本ルールによって、生産性が 10 ~ 20% 向上
 - » InSite Prepress Portal を利用した場合、プリプレスのコストを 30 ~ 60%削減
 - » 利益率は 1 ~ 2% 向上

パッケージレイアウト オートメーション ソフトウェア (PLA)

- 複雑な面付け作業を自動化：現場の設備や処理能力を踏まえたジョブインテントを検証、MIS/ERP システムから XML データを受け取って面付けを自動作成
- 既存テンプレートや使用済み面付けの再利用で作業コストを削減：用紙の使用率を最大限に高め、卓越した処理精度と工数削減を実現、手間のかかるデータ入力も不要
- 高度な編集要件を用いて、Kodak Pandora ステップ&リピート ソフトウェアと完全に互換性のあるレイアウトを作成可能

Business Link

- JDF で Prinergy ワークフローと MIS 間の双方向コミュニケーションを実現
- Prinergy ワークフローと MIS 間で製品・工程関連の JDF データをやり取りしてジョブの作成・設定を自動化
- MIS からの面付け情報を自動的にインポート、あるいは Prinergy ソフトウェア用の面付け作成に使用可能
- 生産中、Business Link によって自動収集されるマテリアル・ステータス情報を MIS に送信することで、Prinergy ワークフローと MIS に連携した Kodak InSite ソリューションのマテリアル追跡やステータス情報配信を自動化することが可能
- プロダクションレポート機能で MIS とは別に、Web ベースのインターフェイスから既定のレポートを流すことが可能

* RBA を導入した Prinergy ワークフローユーザーの調査結果にもとづいた数字です。一般的な印刷会社ではプリプレスの人件費・資材費が収入の 3 ~ 4% を占めています。

カラーマネジメント

ColorFlow ソフトウェアが印刷会社の機器や資材の状態を評価し、自動的にカラー処理するため、オペレーターは印刷条件を選択してジョブを実行するだけです。ColorFlow ソフトウェアは新たに特色用トーンカーブに対応し、フレキシ、デジタル、インクジェット印刷機のサポートを強化しました。このほか、パッケージ関連の強化ポイントとしては、フレキシ印刷用パンプカーブの操作が簡単になったことや、グレーバランスの向上などが挙げられます。

Kodak ColorFlow Pro ソフトウェア

- ColorFlow ソフトウェア ワークフロー エディションからのアップグレードに対応
- ICC デバイス プロファイル、ICC デバイスリンク プロファイルの作成・編集機能を搭載し、トーンカーブ、ICC デバイス プロファイル、ICC デバイスリンク プロファイルが連携して一貫したカラープロダクションを実現

Kodak Ink Optimizing ソリューション

- ColorFlow ソフトウェア Pro からのアップグレードに対応
- インキを節約・印刷前準備時間を短縮し、機上安定性を向上：高度な色変換機能を適用しカラー画像の印象を変えることなく、CMY 色を墨色に置き換えてインキの総使用量を削減

Kodak Spotless ソフトウェア

- 4-color
- n-color

- デジタル、フレキシ、オフセット印刷の特色をプロセスカラーレシビに置換：特色を印刷条件（インキ、印刷機、用紙）にあわせてプロセスカラーレシビに置換し、デジタルライブラリとして保存
- 4～7 色のプロセスカラーへの変換をサポート

面付け

Preps 面付けソフトウェア

- Prinergy ワークフローのインターフェイスに完全統合：面付けの即時作成とマーク配置をサポート
- テンプレートの作成・管理機能を一新し、新たな折丁表示画面を導入
- 独立ページ機能を強化し、操作性も大幅に向上

デジタル印刷

Digital Press Management

- コダック製に加え、コニカミノルタ、キヤノン、リコー、ゼロックス、HP など各種デジタル印刷機用ジョブの集中管理が可能
 - » Digital Submit：ドラッグ & ドロップによる簡単操作と RBA の自動化機能によって、ジョブ作成からファイル処理、面付け、デジタル印刷機への出力までを完全自動化
 - » Digital Direct：デジタル印刷業務を簡素化するデジタル印刷機とジョブのマネージメント インターフェイス。ジョブのフィルタリングとソートを行い、複数の印刷機にキュー登録が可能。さらにジョブの進捗状況と印刷機のステータスはひとつのウィンドウで確認可能
 - » One Managed Press Connection：デジタル フロントエンド (DFE) またはコントローラー デバイス 1 台への接続

デジタルプレスの追加接続

- Digital Press Management からアップグレードが可能
- デジタル印刷機の追加接続

Acrobatプラグイン

PDF プロダクションツール

- 5つのプロダクションツールを搭載
 - » PDF Plate Builder : ジョブの共通エレメントを選択して切り離し、ニス版、ホワイト版、パンフプレートを作成を迅速化
 - » PDF File Editor : Adobe Illustrator や Adobe Photoshop によるファイルのチェック・変換・編集作業を効率化 (編集後の修正ファイルは Prinerger ワークフローへ戻して処理を実行可能)
 - » PDF Trap Editor : ベクトルベースの対話型トラッピングツールで、フレキシ、オフセットなどパッケージ印刷に最適な機能 (ページ全体または選択オブジェクトのトラッピング、トラップの追加・編集、トラップ形状の設定、Keepawayトラップの作成、トラッピングの表示機能 etc) を提供
 - » PDF Compare : 修正前後の PDF ファイルを比較して校正作業を迅速化 (Adobe Acrobat のレイヤー機能を使用し、変更されたエレメントから共通エレメントだけを切り離して検査を効率化)
 - » PDF Merge : デザインファイル内の新規または変更されたエレメントを印刷可能な PDF ファイルに統合 (トラップ、網点形状設定、オーバープリントの設定はそのまま保持)

DotShop Composer

- Adobe Acrobat で Prinerger ワークフローのスクリーニング オプションにアクセス : ColorFlow ソフトウェアの設定でカーブ、網点サイズ、カスタム網点形状、スクリーン線数、スクリーン角度をオブジェクト単位/セパレーション単位で適用可能

Kodakスクリーニングソリューション

Advanced Screening

- 4つの Kodak スクリーニングソリューションを提供する Prinerger のライセンス オプション
 - » Kodak Maxtone スクリーニング テクノロジー : AM/FM ハイブリッド スクリーニング テクノロジー。フレキシパッケージなどのアプリケーションでハイライトとシャドウの再現性を向上 (印刷条件にあわせて「Maxtone CX」「Maxtone SX」「Maxtone FX」の3種類が使用可能)
 - » Kodak HyperFlex スクリーニング テクノロジー : フレキシプレート上にさらに細かく安定した網点を作成 (ハイライトをより忠実に再現し、掛け合わせによる色の変化を平滑化)
 - » Kodak DigiCap スクリーニング : フレキシプレート表面にユーザー指定のテクスチャパターンを形成し、インキの転移ならびにベタ領域の品質を向上
 - » ラスタースケールリング : アートワークに網点画像が含まれる場合、ピクセル除去をランダム化して目障りな干渉を防止

Kodak Staccato NX スクリーニング テクノロジー

- きめ細かなディテールと広色域・高忠実度の連続調画像を生成する先進の2次 FM スクリーニング テクノロジー
- Staccato スクリーニング (全サイズ) とトレーニングキットを含む Prinerger のライセンス オプション

Web to Printとの連携

DSF インテグレーション

- EFI DSF Web to Print ソリューションを Prinergy ワークフローに統合するライセンスとサービス：プロダクションファイルとオーダー情報（cXML 形式）を RBA で受け取って、新規オーダー作成時に Prinergy ワークフローで処理

プリフライト&リファイン

Preflight+

Prinergy ワークフローには、callas software 社が開発した pdfToolbox のプリフライト機能を搭載しています。Preflight+ によって、ファイルの解析・修正を全自動で行い、さらに高度な補正が必要な場合は問題をレポートすることができます。PDF/X-1a、PDF/X-3、PDF/X-4/-4p、PDF/VT-1/VT-2 など、標準的なファイルタイプはすべてサポートし、PDF/X-5 ファイルの検証、多言語・マルチバージョンの出版物やパッケージファイル用のレイヤー PDF/X-4 OCCD の作成も可能です。さらに GWG 2012 を始めとする主要なプロファイル規格、ICC デバイス プロファイル、ICC デバイスリンク プロファイル、色変換機能もサポートしています。

プリフライト

- プロファイルベースのプリフライト機能で入稿ファイルの問題を検出・適正化
- プロファイルエディタで独自のプロファイル作成が可能
- チェック結果を箇条書きで出力したプリフライトレポートには、PDF デジタルマスター内のオブジェクトへのリンクを貼付

PDF バッチトラッピング

- Prinergy ワークフローに新しい PDF バッチ トラッピング エンジンを追加
- リファイン処理中に PDF ページに自動的にトラッピングを実行
- トラップコーナー形状の高度な設定や Keepaway トラップなどパッケージ向けの先進機能を搭載
- 生産ニーズにあわせてトラップエンジンの追加が可能

リファイン

- Prinergy ワークフローに新しいリファイン エンジン（ジョブチケット プロセッサ：JTP）を追加
- 標準的なプリフライト、ノーマライズ、カラーマネージメント機能によって、入稿された PostScript や PDF その他のファイル形式を PDF または PDF/X のデジタルマスターに最適化
- 生産ニーズにあわせて機能の拡張が可能

システムオプション

Dashboard

- 人数に制限なく、関係者にはジョブの進捗状況を Web ベースで表示可能

アーカイブ

- ジョブのアーカイブ、リトリブ、バージ：ジョブと関連ファイル、履歴と設定をニアラインのディスクボリュームに保管し、必要時に呼び出して再処理・再出力が可能

Hot Standby ソフトウェア*

- ダウンタイムを最小化：データベース サーバーをセカンダリー サーバー上に複製することで、プライマリー サーバーの異常時でもデータロスなしでシステムの継続稼働が可能
- * 別名 Emergency Platemaking (EPM+)

ジョブの複製

- メイン RAID へのデータ書き込みと同時にサブ RAID にデータをバックアップ：メイン RAID の異常時でもサブ RAID のデータを利用して生産を迅速に再開可能

ハードウェア環境と仮想環境の両方に対応

- Prinergy ワークフローは Windows Server クラスのハードウェア環境でも、仮想環境（Hyper-V あるいは VMWare）でも実行が可能

コラボレーションツール

Kodak InSite Prepress Portal

- Prinergy ワークフローへの安全な Web アクセスを提供:クライアント、プリプレス オペレーター、サービス担当者がファイルをアップロードして新規ジョブを作成可能
- Web に接続されたコンピュータを使用してどこからでもジョブの進捗状況を確認可能
- Smart Review(InSite Prepress のコンポーネント) の画面上での校正が可能(高解像度ズームやパン、正確な寸法表示、ページ別の校正指示・変更依頼・校了に対応)
- iPad アプリに対応: InSite Prepress 用 iPad アプリでモバイル画面上での校正が可能(高解像度ズームやパン、正確な寸法表示、ページ別の校正指示・変更依頼・校了に対応)

Kodak InSite Creative Workflow

- デザインファイルを集中管理するパワフルで直観的な Web ベースシステム:柔軟なファイル共有、タスクベースの検証・校了ワークフロー、個々のアクションを記録する追跡照合機能を活用してパートナーやクライアントとの共同作業を展開
- 画像、フォント、プロジェクト仕様書などの「アセット」は Asset Library (InSite Creative のコンポーネント) に一括保管でき、メタデータの追加によって関係者全員がプロジェクトとライブラリ コンテンツの整理・閲覧・利用・再利用が可能

出力オプション

Layered PDF Versioning (LPV)

- 多言語版や地域別価格などに対応するバージョン印刷の柔軟性・信頼性・安定性をさらに向上:入稿ファイルの複数レイヤーをマッピングプロファイルの複数レイヤーにマッピングできるため、複雑な出版物やパッケージ印刷の自動化も可能

PrintLink インキキー設定

- 印刷機のインキつぼの設定に必要な JDF 対応 PPF (Print Production Format) ファイルを生成

加減焼き (Web Growth) 補正

- 印刷後に生じる紙伸びの補正が可能 (プレートから独立した線形・非線形の補正値を提供)

中綴じ小冊子 (デジタルブルーラインブルーフ)

- 面付けされたシートからページをカットしてページ順に並べ、単ページまたは見開き (2-up) ページでプリンタに転送

アウトプットレンダー

- 新しい高解像度出力エンジン (ジョブチケット プロセッサ:JTP) を追加:PDF ファイルと面付けジョブチケットを JDF/PJTF 形式で出力
- 生産のニーズにあわせて機能の拡張が可能

トレーニング

Prinergy ワークフロートレーニング

- 管理者やプリプレスオペレーターを対象に、システム構築の手順やワークフロー最適化の取り組み方などを中心としたトレーニングを教室、出張、オンラインで実施

コダックのサービス&サポート

コダックのユニファイド ワークフロー ソリューションを支えているのは、コダックのサービス&サポートです。ダウンタイムの短縮ならびにシステムパフォーマンスの最適化に、製品アップデート、定期的なシステムチェック、エキスパートメンテナンスをお役立てください。また、世界 120 ヶ国をカバーするテクニカル レスポンス センターの熟練スタッフとワークフロー アプリケーション スペシャリストがトラブルの迅速な診断・解決を支援します。コダックのサービス&サポートには、お客様のシステムのパフォーマンスを常に最高に保つ確かな技術力があります。

パッケージ印刷への対応を強化

- Prinergy ワークフローが、著名なブランド企業から求められる高品質に対応
- Maxtone SX スクリーニングが、高精細・高品質を要求されるパッケージ印刷に対応
- グローバル展開しているブランド企業の要望にも柔軟に対応

コダック 合同会社

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)

大阪：050-3819-1266 名古屋：050-3819-1265 福岡：050-3819-1270

仙台：050-3819-1255 札幌：050-3819-1250 金沢：076-200-9583

製品のお問い合わせ先 JP-GCG-products@kodak.com

詳細は

<http://www.kodak.co.jp>

